

TTC山行実施記録表

2012年1月1日 報告者:門間 桂子

山行名	丹沢・菰釣山 (1379m/神奈川県・山梨県)			
実施月日	2011年12月31日～2012年1月1日 マイカー利用			
天候/参加人員	天候:晴 レベル:★ 参加人員(申込:6名,参加:6名)			
パーティスタッフ	CL: SL: 救護: 会計: 氏名削除			
参加メンバー	氏名削除 [男性:5名,女性:1名]			
費用	車使用料¥1600 ガソリン代¥2800 食糧費¥6000 TTCカンパ金¥1000 合計¥11400 一人あたり¥1900			
実行コースタイム	12月31日 厚木ヨ一カド一登山口着一水場一稜線一菰釣避難小屋一菰釣山頂 9:55 12:05 12:45 13:30 13:35 14:15 1月1日 山頂一登山口一厚木着 7:20 8:45 10:30			
歩行/行動時間	行動時間	休憩時間	歩行時間	
	計画時	2:00	20分	1:40
	実行時	2:10	15分	1:55
コースの概要 特記事項 反省事項・等	<p>12月31日、SKさんの車でSTさん、Mをピックアップしたあと、Cさん、Iさんをヨ一カ堂前で乗せ、9:55分に出発する。大晦日のなんとなく心のざわざわしたなか、道路は閑散としており静かな暮れ日である。登山口に11:45分に到着。リーダーによると2年前はもう先まで車が入れたようであったが、多分今年の台風15号の爪痕は、いたるところで崩壊がすすんでおり、その先は車は乗り入れできなかった。ここから小屋までは約2時間であるが、この頃はリーダーの申請した時間プラスで判断する癖がついているメンバーは「じゃ、3時間かかりますね」ということになり、無駄な荷物は持たないことで意見が一致する。そして、なぜか、日本酒500mlを車にデポすることになった。軽く準備体操を行い、12:05分に出発する。崩壊がすすんだ道をだらだら40分ほど歩くと最後の水場につく。ここから稜線までの登りが待っている。</p> <p>菰釣山といえば、SKさんと私には苦い思い出がある。平成21年の暮れに、リーダーのくちぐるまに乗って、丹沢大縦走なるものに参加してしまった。きついなのって、毎日10時間以上歩く、広沢寺から山中湖まで歩く3泊4日のロングコースであるその時の3泊目に泊まったの菰釣小屋であった。夕方の3時過ぎだったと思うが小屋に着くころにはへとへとになり、口をきくにもならなかった。しかも寒かった。縦走路には水場がなく、小屋につくとリーダーが水を調達にいってるとポリタンクを持って下って行った。すぐ帰ってくるだろうと待っていたがなかなか帰ってこない。それもそのはず、あの汲みにいった水場はここだったのだ。ありがとう、おとうさん。本当にごろうさまでした♡…と、感慨に浸ったあとは、ひたすら稜線めざして登っていく。雪はなかったが地面が凍っておりずるずる滑り落ちそうなる所もあった。30分ほどで稜線につき、そこから小屋まではわずか5分ほどの距離であった。余裕があるのと、ないのではこんなにも違うものか、2年前はこの登りが1時間くらいかかったように感じた小屋のノートに昨日の客が書いた記録が残っていた。今日は誰もいない、小屋を後にし、とりあえず山頂までいくことにする。14:15分、菰釣山頂到着。風もなく午後のお日様がやさしい。富士山が目の前にそびえる。なんて贅沢な時間であろう。「ここはやはり、熱燗ですか。明日はお正月、お正月。なんせ、今日は大晦日ですよ。いいじゃないですか、すみません。もう一杯」またたく間に900mlの酒を飲みほした。えっ、マジ!! Cちゃん、車まで取りに行ってもよ。</p> <p>山頂直下にテント2張り設営。早めの宴会の準備となった。ひとつのテントに6人入る、肩が触れ合うくらいであったが、おもったより狭くなく、鍋をつつきながら話はずきない。山とは…なんぞや、なんて話も盛り上がったころの絶妙なタイミングでCちゃんは、「K子さん、これ捨てて」と鍋のつゆのあまりを差し出した。いいね、この空気読めない行動。テントのなかにはまたたく間に笑いの渦に。</p> <p>酒が入った後は、星座の観察は中止かと想像していたが以外にみんな元気で、山頂で冬の星座観察となった。オリオン座、カシオペア、冬の大三角形、SKさんとリーダーはスバルが大変気に入ったようである。I先生の指導のもと小学生に返ったようにいつまでも空を見上げていた。本当に素敵なお大晦日であった。持っていったラジオからは紅白が聞こえていたがそれ以上に話に盛り上がり、22:30分に就寝となった。</p> <p>1月1日は5時起床。あいにくの曇り空で初日の出は拝めず。お雑煮を食べた後、7:20分にテントを後にした。帰りに小屋をのぞくと、昨夜はひとり泊り客がいたようであった。帰りの途中で、沢筋にテントをはって遊ぶ家族がいた、「こんな寒中、ご苦労なことだね」と誰かがつぶやいた。</p> <p>メンバー紹介 リーダー: もうすこし、もう少しが口癖。 SKさん: 世話人会代表&サンバカのひとり。写楽の顔まねの特技をもつ。 STさん: サンバカのひとり。Iさんより年上。帽子なしでも冬が越せる。 Cさん: STさんと同期。笑いながら泣くこともある。 Iさん: 高貴な雰囲気があるが、以外とよく飲み、よくしゃべる、声のトーンがやや高い。 Kちゃん: 何事も自分中心、なにせ末っ子ですから。</p>			